

第339回 脂溶性ビタミン総合研究委員会プログラム

日時 平成25年7月5日(金) 午後1時30分より

場所 同志社大学室町キャンパス「寒梅館」

〒602-8580 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

地下鉄烏丸線「今出川」(京都駅より9分) 下車徒歩1分

世話人 野口範子 委員 (同志社大学生命医科学部 教授)

研究発表

1. 正常ラットにおける α -トコフェロール摂取の骨への影響：pQCT、 μ CT および骨形態計測による評価

1) エーザイ株式会社 2) 長崎大学病院 3) 伊藤骨形態計測研究所
4) 日本バイオリサーチセンター
笠井俊二¹⁾、伊東昌子²⁾、伊藤明美³⁾、松井ゆかり⁴⁾

2. ゴマ摂取はビタミンK濃度を上昇させる

名古屋学芸大学管理栄養学部
池田 彩子

3. ゲラニルゲラニオールのテストステロン産生促進作用

東北大学大学院農学研究科栄養学分野
白川 仁、吉田理沙、伊東あさぎ、Giriwono Puspo Edi、駒井三千夫

4. NMR と in silico スタディーによるリガンド依存的 PPAR γ リン酸化阻害機構に関する研究

昭和薬科大学
山本恵子、伊藤俊将

紹介講演

1. ビタミンE類の抗酸化作用と中枢神経疾患抑制の可能性

独立行政法人産業技術総合研究所 健康工学研究部門
吉田 康一

2. ビタミンE誘導体による癌細胞特異的作用と癌治療への展開

京都薬科大学薬品物理化学分野
小暮健太郎